

関西哲学会第 78 回大会プログラム

日時：2025年 10 月 4日（土）、5 日（日）

場所：香川大学幸町北キャンパス3号館

【第1日目】 10月4日（土）

受付開始9:30より

個人研究発表（313室）

- 1 10:00-10:45
存在論的シニフィアンとメタ言語
——ラカンとウィトゲンシュタインを顧みつつ——
吉田茂美（無所属）
司会 加國尚志（立命館大学）
- 2 10:50-11:35
存在論的死学——死を起点とする認識論の転回
牛尾憲治（一般社団法人泉鳳）
司会 松本啓二郎（大阪教育大学）
- 3 11:40-12:25
アリストテレスの「統一性」概念における芸術と鑑賞の必要条件
中良太（大阪大学）
司会 早瀬篤（京都大学）

委員会 12:30-13:30（312室）

個人研究発表（313室）

- 4 13:35-14:20
アリストテレスの自発性概念
山田雄介（京都大学）
司会 茶谷直人（神戸大学）
- 5 14:25-15:10
「歴史の哲学は可能か」という問いにいかに向き合うか？
——ディルタイ-ヨルク書簡集を導きとして——
入江祐加（岡山理科大学）
司会 中村拓也（同志社大学）

共同討議 15:15-17:45（314室）

「分析哲学の始まりはどのようなものだったのか？」

「フレーゲ革命」はどれほどの「革命」だったのか

大西琢朗（立命館大学）

論理主義は何を求めていたのか——二つの「理解」概念を手がかりに

伊藤遼（早稲田大学）

司会 久木田水生（名古屋大学）
稲岡大志（大阪経済大学）

懇親会 18:00-20:00（会場：香川大学生協1階 大学会館内）

【第2日目】 10月5日（日）

受付開始9:30より

個人研究発表（313室室）

- 6 10:00-10:45
個物的となる個物：後期西田哲学における個体化論
後藤祐次郎（京都大学）
司会 竹内綱史（龍谷大学）
- 7 10:50-11:35
和辻倫理学における「人倫的組織」の本質について
——「家族」「親族」の知見から——
田島淳之介（関西学院大学）
司会 鈴木真（名古屋大学）
- 8 11:40-12:25
M・ホルクハイマーの認識論：「構成」と「叙述」に着目して
山本楓真（神戸大学）
司会 嘉目道人（大阪大学）

編集委員会 12:30-14:00（312室）

総会 14:05-14:35（314室）

個人研究発表（313室）

- 9 14:40-15:25
シモンドン哲学にとってイメージとは何か：情報論の観点から
石長祐一（大阪大学）
司会 吉永和加（名古屋市立大学）
- 10 15:30-16:15
系列としてのアフェクトス——「ライブニッツの情念論」
松田毅（岡山大学）
司会 稲岡大志（大阪経済大学）